

2024年2月5日

各位

会社名 株式会社 MCJ
 代表者名 代表取締役社長兼 COO 安井 元康
 (スタンダード市場 コード番号: 6670)
 問合せ先 経営企画室 広報 IR 担当
 ir-otoiawase@mcj.jp

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2023年5月12日に公表いたしました2024年3月期通期業績予想について、下記の通り修正し、過去最高の営業利益を達成する見込みとなりましたので、お知らせいたします。

記

1. 2024年3月期通期連結業績予想数値の修正 (2023年4月1日~2024年3月31日)

(金額の単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株あたり 当期純利益
前回発表予想 (A)	194,600	14,300	14,300	10,100	102円79銭
今回修正予想 (B)	185,000	16,700	16,900	11,900	121円11銭
増減額 (B - A)	△9,600	2,400	2,600	1,800	—
増減率 (%)	△4.9	16.8	18.2	17.8	—
(ご参考) 前期実績 (2023年3月期)	191,076	14,318	13,935	9,603	97円79銭

2. 修正の理由

当社グループの属するパソコン市場は、円安傾向の継続等に伴うパソコン製造に係る原材料・部材価格の高止まりの影響が続く中、コロナ禍前後における一時的かつ大幅な需要増に対する反動減や、各種生活コストの増加を受けて、需要サイドにおいても継続して軟調に推移しております。

また、当社グループが事業展開を行う欧州各国及び東南アジア各国においては、ロシア・ウクライナ問題の長期化や根強い物価上昇圧力の継続に伴い、先行き不透明感から現地企業による設備投資や個人が消費を控える動きが続いており、前年度と同様に予断を許さない状況が継続しております。

このような状況下、期初予想の段階では人件費を含む各種コスト増を見込み、営業利益以下の各利益につきましては、前年同期比でほぼ同等との連結業績計画を立てており、前年下半期に引き続き、売上確保よりも利益重視のスタンスを重視し、また更に強化すると共に、厳格なコストコントロールを展開してまいりました。

国内パソコン関連事業におきましては、円安による困難な調達環境が継続すると共に、過去数年に亘り市場全体の出荷台数がマイナス傾向で推移する中、販売台数や売上の向上よりも利益率及び利益の確保を重視し、特に需要の高い製品セグメントに注力した製品展開や迅速な価格改定及び営業施策、Web広告等の広告宣伝活動を展開した結果、売上高及び各利益については前年同期比で減収減益ではあ

るものの、底堅い業績にて推移しております。

海外パソコン関連事業におきましては、欧州及び東南アジアにおける事業環境は引き続き不透明な状況が継続しているものの、現地におけるニーズに迅速に対応した製品・サービス投入等を行った結果、欧州モニタ事業、東南アジア事業ともに前年同期比で大幅な営業増益となる等、期初予想も大幅に上回り順調に推移しております。

また、コロナ禍において赤字基調が継続していた総合エンターテインメント事業におきましても、順調に業績回復を続けると共に、増益基調が継続しております。

以上の結果、売上高は前年同期比及び期初予想比で減収ではあるものの、海外パソコン関連事業が前年同期比で大幅な営業増益となり、当社グループ全体の業績を牽引し、通期としての過去最高の営業利益を達成する見込みとなりました。

以上

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて作成されており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。